

22年度以降の産業振興会議について(案)

資料2

産業振興に関する提言書 ～次期総合計画における産業政策～

<方向性>

- 産業基盤の確立と機能強化の推進
 - ・工場、商業施設の立地誘導
 - ・人材確保・育成
 - ・新陳代謝の促進
 - ・新たな連携の促進
- 活力あふれる八尾産業の発信
 - ・戦略的な八尾産業のブランド化と情報発信
- 産業政策を活かした「まちづくり」の推進
 - ・工業の発展による「まちづくり」の好循環
 - ・「商業まちづくり」によるまちと商業の活性化

⇒産業政策の位置づけをされに高め、産業振興をまちづくり全体の共通の課題として捉える。

<留意事項>

- 工業と商業が果たす役割の違い
 - ・工業は八尾市外部から収益を上げ、雇用等を創出する役割を果たす。
 - ・商業は八尾市内における市民の買物、生活の質を上げる役割を果たす。
- 地域資源活用、国際競争力強化、広域連携の視点
- 基本条例の実効性担保
 - ・基本条例との関連を整理し、工業、商業集積の維持・発展に実効性を持たせる。
- 推進体制の強化
 - ・人員、予算のさらなる充実
 - ・商工振興支援の拠点施設を整備、機能強化

★基本理念・産業政策

- 次期総合計画 H23～H32(前期計画H23～H28)
- 中小企業地域経済振興基本条例 H13～

リンク

基づき検討

次期総合計画のスタートにあわせ検討

★産業振興会議での施策検討

- 産業基盤の確立と機能強化の推進に向けた施策検討
 - ☆中小企業地域経済振興基本条例の検討
 - ・これからの八尾産業を支える人材の確保・育成
 - ・中小企業者の操業環境の確保
 - ・空地・空き店舗対策
- 活力あふれる八尾産業の発信に向けた施策検討
 - ・八尾ブランドの創出
 - ・情報発信力の強化
 - ・産業振興の重要性についての市民理解の促進
- 産業政策を活かした「まちづくり」の検討
 - ・他分野との連携・協働による産業振興
 - ・事業者のまちづくりへの参画と地域住民との協働
 - ・地域資源の活用(農商工連携など)

基づき機能追加

★産業振興施策の実施 【商工振興支援拠点】

- 支援機能の充実
 - ・中小企業支援のワンストップサービス(トータルサポート)
 - ・中小企業サポートセンター機能の拡充
 - ・創業支援の実施
 - ・八尾産業の発信力強化(発信拠点)
 - ・中小企業者の交流・学びの場を確保
- 支援体制の充実
 - ・八尾商工会議所等関係機関との連携強化
 - ・人員体制の強化

反映

反映